



北斗句会

令和四年八月定例会（三日） 兼題 「暑」「虫」

五十音順 特選 石田きよし選

特 森の蟬いかつき聲にほそき声 大崎石州

特 窓枠の景に一瞬あげは蝶 大森康正

いつときは介護疲れの麦茶かな 竹内雲泉

墓地裏の素知らぬふりの百日紅 田中資凡

特 禁色の深紅はかくやトマト熟る 長池豆陽

蚊遣香渦のまなかにある昭和 藤田紀潮

虹渉り彼の訪れし国偲ぶ 宮下ひかる

特 起重機の影動かざる炎暑かな 森田光彦

夏燕池かすめれば雨近し 吉岡誠山



一個づつ声かけて採る胡瓜かな 石田きよし